科目名	日本語理解C（主題と構造）　Japanese C: Theme and Structure						
科目担当者	堀下　翔　HORISHITA Kakeru						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　総合講座］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　総合講座］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	本科目では文章を精読するスキルの獲得を目指します。文章の精読とは、①用いられている言葉の意味や用法を正確に知っている、②段落ごとの主題や段落同士の繋がりを把握できる、③説明や描写の軽重を見きわめる、といった複合的な認知によって可能になります。漫然と「読む」のではなく、必要な段取りを腑分けして意識するトレーニングを積むことで、文章に対する理解は深まります。加えて、自身の読解を他者に適切に伝えるスキルも身につけることで、総合的な日本語リテラシーを育てます。文章を「読む」というスキルを見つめなおす機会にしましょう。						
授業の到達目標	①　文章に用いられている言葉の意味や用法を正確に説明できる。 ②　文章に示されている論理の展開を辿ることができる。 ③　文章の論旨を的確に要約できる。						

授業計画・内容		
	1	ガイダンス―「要約」はむずかしい
	2	言葉を知る―①慣用句
	3	言葉を知る―②抽象語
	4	言葉を知る―③コロケーション
	5	段落を読む―①トピックセンテンス
	6	段落を読む―②段落同士のつながり
	7	情報に軽重をつける―①要約のトレーニング
	8	情報に軽重をつける―②要約の実践
	9	論理トレーニング―①練習問題
	10	論理トレーニング―②練習問題
	11	新書を読む―①本の選定
	12	新書を読む―②読後感の共有
	13	新書を読む―③要約のブラッシュアップ
	14	レポートの相互批評
	15	総括

授業外学修 (事前学修)	・毎回、授業範囲を予習し、不明な箇所を調べておく（毎週 1 時間程度） ・授業内で取り組む「新書を読む」（全 3 回）の課題の準備（合計 5 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	・授業で取り組んだ課題を復習し、自分で解けるようにする（毎週 2 時間程度） ・期末レポートに取り組む（10 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	・小テスト	20%	①
	・課題（授業内で扱うが、授業外の作業がある）	40%	①、②、③
	・期末レポート	40%	①、②、③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	特に指定しない。適宜プリント等を配布する。
参考文献	ソニー・グローバルエデュケーション『5 分で論理的思考力ドリル』（学研プラス、2019 年）
その他	「日本語理解」A・B を履修済であることが望ましいが、必須条件ではない。